

平成20年度 地盤工学会 研究奨励賞を受賞！

半井 健一郎 准教授

本学科コンクリート研究室の半井健一郎准教授が平成十九年度地盤工学会研究奨励賞を受賞した。

半井准教授の受賞した地盤工学会研究奨励賞は、会員数が約一万人の地盤工学会において、地盤工学に関する注目に値する研究を行い、将来学術の進展に貢献が期待できる業績をあげた三十五歳以下の者に授与されるもので、本年度は半井准教授を含めて二人が受賞した。今回の受賞対象業績は、東京大学の石田哲也准教授、前川宏一教授との連名のタイトルが「MULTISCALE PHYSICO-CHEMICAL MODELING OF SOIL-CEMENTITIOUS MATERIAL INTERACTION」という論文であった。

半井准教授の研究対象はコンクリートであるが、コンクリート構造物の周辺地盤の影響やコンクリートと地盤材料の中間材料としてのセメント系改良土を統一的に評価可能なマルチスケール解析システムの開発を行っており、その研究内容が地盤工学の分野においても高く評価されたものである。半井准教授は、昨年度、会員数が約八千人の（社）日本コンクリート工学協会の奨励賞も受賞しており、コンクリート工学と地盤工学の両分野において、研究内容が認められたことになる。